地獄への退却（1952）

RETREAT, HELL!

メディア 映画
ジャンル 戦争　ドラマ
製作国　アメリカ
色彩　B&W
時間　95分
初公開日 1954/04/26
公開情報 映配

【解説】

　総体的には月並みな朝鮮戦争ものの域を出ないが、Ｂ級映画らしい直截さがところどころよい効果を上げている、「拳銃魔」のＪ・Ｈ・ルイス監督作。第二次大戦の勇士、海兵隊のハンスン大尉（カールソン）は戦後はずっと通信班で、長らく実戦から遠ざかっていたが、朝鮮への緊急召集を受け、あてがわれた自分の部隊を内地で鍛え上げてから、彼らと共に前線に繰り出した。大隊長のコーヴェット大佐（ラヴジョイ）は、家族に後髪引かれる思いの彼に、未練を断ち切るよう“非常時”を強調するが、戦災孤児の兄妹に缶詰を与えたりして、自分には家族のない佗しさをハリスンに洩らすのだった。部隊一若い新兵マクダミット（タンブリン）は先に従軍している兄との再会を希望にし、果敢な手榴弾攻撃で敵に落ちかけていた総司令部を奪還するが、そこで彼を待ち受けていたのは兄の亡骸だった。しばし放心状態で過ごした後、彼は勇ましい軍功を次々に立てていく。やがて部隊は３８度線を北に越えるが、中国軍の必死の抵抗に遭い一時退却を余儀なくされる。そして、大佐も被弾して失神。気づいた時には隊の全滅を聞かされるのだが、マクダミットはじめ、担架で運ばれる者も含め、部下たちはしぶとく生き残っていた。戦いはまさにこれからだ……。戦闘シーンはほとんどニュース映画の貼り合わせに、Ｂ班のロケとセットでのアップがごく“ぞんざい”につながれ、かなりいい加減な印象。その即物的な感じが不思議と心地よかった。

【クレジット】

監督	ジョセフ・Ｈ・ルイス	Joseph H. Lewis
製作	ミルトン・スパーリング	Milton Sperling
原作	ミルトン・スパーリング	Milton Sperling
脚本	ミルトン・スパーリング	Milton Sperling
	テッド・シャードマン	Ted Sherdeman
撮影	ウォレン・リンチ	Warren Lynch
音楽	ウィリアム・ラヴァ	William Lava
出演	リチャード・カールソン	Richard Carlson
	フランク・ラヴジョイ	Frank Lovejoy
	ラスティ・タンブリン	Rusty Tamblyn
	アニタ・ルイーズ	Anita Louise
	ネッド・ヤング	Ned Young

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.